

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【公表番号】特表2012-531972(P2012-531972A)  
 【公表日】平成24年12月13日 (2012.12.13)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-053  
 【出願番号】特願2012-518611(P2012-518611)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 E

A 6 1 M 25/00 3 0 9 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成25年6月28日 (2013.6.28)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中心軸を有する伸長光コヒーレンストモグラフィ (OCT) カテーテルと、カテーテルの遠位部分で軸外に固定的に取り付けられた OCT センサとを使用して、OCT によって体の内腔を画像化する方法であって、

遠位部分にある OCT センサを回転させ、OCT センサを使用して OCT 画像を取得するステップと、

OCT 画像をトロイダルマップとして表示するステップとを含む方法。

【請求項 2】

OCT 画像を表示するステップは、カテーテルのカテーテル中心軸に対する OCT センサの半径方向の位置をベースとしたトロイダルマップを決定するステップを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

OCT 画像をスケールリングすることによって、画像の半径方向の歪みを修正するステップをさらに含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

OCT 画像の半径方向の位置と修正因子とを掛け合わせることによって、画像の半径方向の歪みを修正するステップをさらに含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

修正オフセットを OCT の半径方向の位置に加えることによって、画像の半径方向の歪みを修正するステップをさらに含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

修正オフセットのマッピングテーブルを OCT の半径方向の位置に適用することによって、画像の半径方向の歪みを修正するステップをさらに含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

中心軸を有する伸長光コヒーレンストモグラフィ (OCT) カテーテルと、カテーテルの遠位部分で軸外に固定的に取り付けられた OCT センサとを使用して、OCT によって体の内腔を画像化する方法であって、

ＯＣＴセンサを使用して、複数の第１ＯＣＴ走査線を取得するステップと、  
複数の第１走査線においてデータを点別平均化するステップと、  
逆フーリエ変換によって、平均化した複数の第１走査線を変換するステップと、  
トロイダルマップとしてＯＣＴ画像を表示するステップとを含む方法。

【請求項 8】

多重の複数のＯＣＴ走査線について、取得するステップ、点別平均化するステップ、及び変換するステップを繰り返すステップをさらに含む請求項7記載の方法。

【請求項 9】

多重の複数のＯＣＴ走査線を点別平均化して、ＯＣＴ画像をＦＦＴ後に平均化するステップをさらに含む請求項8記載の方法。